KPGC 会報　１４４ 号　〔 パークの日記念大会 〕　令和4年8月12日(金)発行

◎　8月9日は語呂合わせでパークの日と長崎の原爆投下の日

パークの日記念大会は石川県のパークゴルフ連合会の講師から勧められ、平成27年に第1回を開催しました。翌年からは名称を「京都府大会」に改めましたが、事務局の努力不足で京都府全市町村への広がりに至らず、現状は写真横断幕のとおりの大会となっています。今後、パークゴルフの普及のためパークの日記念大会が発展していていくよう努力したいと思います。

さて、この日は長崎原爆投下の日にもあたります。2年前からは「パークゴルフができる健康や平和に感謝する」を開催目的に入れました。この日は京都新聞社の取材を受け、スタート前に原爆被災者への黙祷を行ないました。また、アメリカMLBリーグの大谷翔平選手の活躍もあり「野(8)球(9)の日」と述べる解説者もいました。

そんな8月9日は、お盆前の繁忙な日です。にもかかわらず参加された25名の皆さんは暑さにも負けず元気にプレーをされました。

今回、2名のオープン参加者がおられました。森實さん(元会員)と湊哲朗さん(北海道千歳市)です。深い芝生やアップダウンのコースに苦戦しながら後半はスコアをまとめられていました。

皆さんと笑顔の交流もあり、いいラウンドだったことが何よりでした。

また、ご参加ください。

8月9日だけでなく、パークは楽しの毎日を皆さんと過ごしたいですね。

◎パークの日記念大会　　印ホールインワン

順	お名前	グロス	西/藤：西/藤
1	今後 鎮郎	106	28/27:22/29
2	大隅　猛	107	23/28:25/31
3	大水　茂	108	28/27:26/27
4	佐藤　矢	108	26/29:26/27
5	湊　敏	112	30/29:27/26
6	田中 正雄	112	24/31:28/29
7	大薮 康平	112	27/26:30/29
8	岡本 洋子	114	26/31:28/29
9	児玉　徹	117	27/31:26/33
10	森　峯子	119	30/32:27/30
11	久保田茂子	120	29/32:31/28
12	野口 久之	121	30/30:32/29
13	今後 方子	124	26/32:33/33
14	大水由美子	125	38/29:28/30
15	田中　博	125	31/34:32/32
16	野間 幸栄	126	32/33:29/32
17	大薮すみ子	126	28/36:30/32
18	田中 弘次	129	34/38:29/28
19	林　正和	129	32/33:32/32
20	湊　哲朗	130	39/31:29/31
21	山内　清	130	31/35:30/34
22	森　實	133	30/41:35/27
23	岡本　均	134	36/35:28/35
24	竹脇 正夫	140	38/34:35/33
25	児玉すみ代	145	30/38:40/37

【 評 】

重い芝状態でよくスコアメイクされた皆さんに敬意を表します。特に男子上位の110切りは素晴らしい。女子上位も120以内のスコアで立派でした。参加者スコアはほぼ132のパープレーです。大叩きがなければ全員が120台で収まります。そのためには、慌てないルーティーンをマスターしましょう。うっかりパットや慌てショットは大叩きの原因になります。どの方向に打ちたいのか、ボールを止るのはカップの手前なのか奥なのかなど気持ちの整理をしてから打ちましょう。

皆さんの躍進を期待しております。

男女上位入賞者

平和と健康に感謝しプレー

京丹波でパークゴルフ記念大会

8月9日の「パークゴルフの日」にちなんで、京丹波町須知の須知公園でパークゴルフの記念大会が開かれた。同日で長崎市への原爆投下から77年となるのを受け、趣味を楽しめる平和のありがたさをかみしめてプレーした。

同ゴルフは直径6㌢の球を使い、幅広い年代に親しまれている。大会は語呂合わせで「パークゴルフの日」に合わせ、同町パークゴルフクラブが2016年にスタート。近年は大会目的に「平和を願い、幸せと健康に感謝する」ことを加えた。

約30人が参加。開始に先立ち、湊敏会長(74)は「平和に思いをはせながらプレーするのは大事と思う」と述べ、全員で30秒の黙とうをささげた。競技が始まると、参加者は和気あいあいとコースを回った。

(陰山篤志)

赤ちゃん

開始を前に黙とうする参加者
(京丹波町須知・須知公園パークゴルフ場)

8月10日京都新聞朝刊です。記者の陰山篤志様はコースを熱心に巡回されていました。皆さんの笑顔のプレーからパークゴルフの魅力を感じておられたご様子でした。次回は是非ラウンドを、と勧めておきました。